



2019年8月9日

各位

会社名 AOI TYO Holdings 株式会社
 代表者 代表取締役社長 中江 康人
 (コード番号 3975 東証第一部)
 問合せ先 専務取締役 譲原 理
 (TEL. 03-3779-8415)

2019年12月期 第2四半期及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2019年2月19日に公表した2019年12月期 第2四半期及び通期の連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2019年12月期 第2四半期(累計)連結業績予想数値 (2019年1月1日～2019年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 32,000	百万円 1,100	百万円 1,000	百万円 500	円 銭 21.13
今回修正予想 (B)	30,600	810	630	250	10.63
増減額 (B-A)	△1,400	△290	△370	△250	—
増減率 (%)	△4.4%	△26.4%	△37.0%	△50.0%	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2018年12月期第2四半期)	30,864	1,746	1,680	1,170	49.22

(2) 2019年12月期 通期 連結業績予想数値 (2019年1月1日～2019年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 65,000	百万円 2,600	百万円 2,500	百万円 1,300	円 銭 54.93
今回修正予想 (B)	63,600	2,300	2,150	1,050	44.63
増減額 (B-A)	△1,400	△300	△350	△250	—
増減率 (%)	△2.2%	△11.5%	△14.0%	△19.2%	—
(ご参考)前期実績 (2018年12月期)	64,792	3,433	3,325	1,952	82.48

2. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、公共投資や個人消費の持ち直しで内需が緩やかに回復を見せる一方、アジア向けを中心とした外需の伸び悩みを背景に景況感が悪化、米中貿易摩擦の激化も伴って先行き不透明感が強く、景気に足踏み感がみられました。

このような環境の下で、当社グループでは働き方改革による受注コントロールを継続しつつも大手広告会社からの受注・売上は増加している一方で、一部子会社の売上が計画を下回ったこと等から当第2四半期連結累計期間の売上高は、業績予想を下回りました。

利益面においては、これに加えて、業績が不振な子会社の整理に伴う特別損失 279 百万円を計上したこと等から、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに業績予想を下回りました。

通期の業績予想については、当第2四半期連結累計期間末の受注残高は 15,119 百万円(前年同四半期末比 5.4%増)と増加しており、足元の受注状況は堅調に推移していること等から、第2四半期連結累計期間の下振れ分のみを反映し下方修正を行うことといたしました。

※ 上記予想は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上